

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第6区分
 【発行日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【公開番号】特開2001-97412(P2001-97412A)
 【公開日】平成13年4月10日(2001.4.10)
 【出願番号】特願平11-269751
 【国際特許分類第7版】

B 6 5 D 41/02

B 6 5 D 53/04

【F I】

B 6 5 D 41/02 Z

B 6 5 D 53/04 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月5日(2005.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリエステル系樹脂A製のキャップ本体と、ポリエステル系樹脂B製のキャップ用パッキングとより構成される樹脂製キャップにおいて、ポリエステル系樹脂Aの弾性率が7000～30000kg/cm²、ポリエステル系樹脂Bの弾性率が1000～15000kg/cm²であり、かつ、ポリエステル系樹脂Aの弾性率>ポリエステル系樹脂Bの弾性率、なる関係を満たすことを特徴とする、樹脂製キャップ。

【請求項2】

ポリエステル系樹脂Aが、テトラメチレンテレフタレート単位が70モル%以上であるポリテトラメチレンテレフタレート系樹脂である、請求項1に記載の樹脂製キャップ。

【請求項3】

ポリエステル系樹脂Bが、ジカルボン酸成分においてテレフタル酸が70モル%以上、グリコール成分においてテトラメチレングリコールとポリテトラメチレンオキシドグリコールの合計量が70モル%であるポリテトラメチレンテレフタレート系樹脂である、請求項1または請求項2に記載の樹脂製キャップ。

【請求項4】

キャップ本体とキャップ用パッキングとが、一体化成形法で製造されたものである、請求項1ないし請求項3のいずれか一項に記載の樹脂製キャップ。

【請求項5】

請求項1ないし請求項4の樹脂製キャップを、ポリエステル系樹脂製ボトルの栓として使用したものであることを特徴とする、樹脂製キャップ付きポリエステル系樹脂製ボトル。

。